

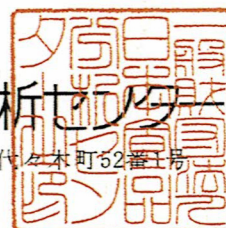
試 験 報 告 書

依 頼 者 サラウンディング株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 香料(品名 カンファーツリー)

表 題 除菌効果試験

2021 年 01 月 20 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

除菌効果試験

1 依頼者

サラウンディング株式会社

2 検 体

香料(品名 カンファーツリー)

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)	
		開始時	24時間後
クロカワカビ	検 体	—	<1000
	対 照	6.8×10^5	5.7×10^5

保存温度：室温

対照：精製水

<1000：検出せず

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	<i>Cladosporium sphaerospermum</i> NBRC 6348 (クロカワカビ)
	前培養 : Potato Dextrose Agar (Difco), 25 °C ± 1 °C, 7~10日間 菌液調製溶液 : 0.005 %スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液 菌数 : 10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	24時間(室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で1000倍希釈	
対照	精製水	
生菌数測定	GPLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法 25 °C ± 1 °C, 7日間	

以 上